

58 男女共同参画センター運営【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		男女共同参画社会の実現をめざします					
事業概要	内容	千代田区男女共同参画センターMIWは、性別による不平等がなく、誰もが自分で生き方を選ぶことができ、その選択が認められて、参画ができる社会の実現をめざす活動拠点施設です。MIWでは、夫婦や親子の問題、ハラスメント、DVなどに関する相談を行ったり、男女平等意識の普及啓発を図るため、さまざまな講演会や講座を実施しています。					
	事業開始年度	平成10年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	51,775,000円		50,394,481円		97.3%		
	コスト単位	区民1人あたり (64,584人)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
780円		[88.5%]	101円	[11.5%]	881円	[100.0%]	
事業実績	○平成30年度実績						
	<p>(1) 男女共同参画センターMIWの開設20周年記念事業</p> <p>①MIW開設20周年記念イベント 記念講演会「私とオスカルが切り拓いたもの」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成30年10月5日（金）17：50～20：00 ・場所：区役所1階区民ホール ・講師：池田理代子氏（劇画家） ・聞き手：松尾紀子氏（元フジテレビアナウンサー） ・参加者：111名（女性86名、男性25名） <p>②MIW開設20周年記念「ラン&ウォーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：平成30年11月11日（日）9：30～12：00 ・場所：皇居外周 ・内容：非暴力のシンボルである紫色のTシャツを着用し、走り、歩くことで、暴力のない世界の大切さをアピールする。 ・参加者：230名（女性146名、男性84名） <p>③MIW開設20周年記念号「MIW通信第43号」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行日：平成30年8月31日（金） ・発行部数：2,000部 <p>(2) その他、MIW活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ①交流サロン利用者数：30,189人 ②相談件数：479件 ③講座数及び参加者数：35講座、延べ976人 						
現況と令和2年度予算への対応	<p>第5次男女平等推進行動計画の基本理念である「性別による不平等がなく、誰もが自分で生き方を選ぶことができ、その選択が認められて参画できる社会」の実現のため、男女共同参画センターMIWでは、5つの機能「相談・学習・情報・支援・交流」をさらに充実していく必要があります。</p> <p>令和2年度は、令和元年度に引き続き、多くの方にMIWを知り、利用してもらえるよう、多様な講座の実施やインターネットを利用した積極的な情報発信等、各事業の充実を図ります。</p>						
所管課	地域振興部	国際平和・男女平等人権課	決算参考書	186頁	H30予算の概要	137頁	

59 千代田の女性史編纂【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	男女共同参画社会の実現をめざします
------------------------	-------------------

事業概要	内容	平成11年度に発行した「千代田区女性史（全3巻）」の続編として、その後の地域における女性の歴史を中心に、後世に伝承することを目的とし、新たな女性史を編纂します。
	事業開始年度	平成30年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	3,288,000円		3,105,749円		94.5%		
	コスト単位	区民1人あたり (64,584人)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
48円		[55.8%]	38円	[44.2%]	86円	[100.0%]	

事業実績	<p>○平成30年度実績</p> <p>(1) 千代田区女性史企画委員会の開催 千代田区女性史企画委員会を設置。企画委員会を3回開催し、編纂方針を決定しました。</p> <p>【編纂方針（概略）】 男女共同参画社会基本法（平成11年6月）制定後の社会の変化を踏まえつつ、次世代に向けて女性の多様なロールモデルを示すとともに、性別や性的指向・性自認及び障害の有無を問わず誰もが生きやすい社会について問いかける。</p> <p>(2) 女性史についての講座の実施 千代田の女性史編纂事業の機運醸成及び編集委員の公募に向け、男女共同参画センターMIWにおいて講座を3回実施しました。</p> <p>①女性ジャーナリストにみる今昔物語 平成30年10月17日（水）18：30～20：00 ②平塚らいてうの生き方 平成30年11月21日（水）18：30～20：00 ③世界に一つだけのZINE（ジン）づくり 平成31年1月19日（土）13：00～16：00</p> <p>(3) 編集委員の公募 編纂方針に基づき編纂作業を行う編集委員を公募し、決定者にオリエンテーションを実施しました。</p> <p>①募集人数：15名程度（区内在住・在勤・在学、性別不問） ②応募方法：Eメール・FAX・郵送にて、応募動機（100～200字）を提出 ③募集期間：平成31年1月20日（日）～2月15日（金） ④採用人数：23名（応募人数：32名） ⑤千代田区女性史編集委員オリエンテーション 日時：平成31年3月28日（木）13：45～17：00</p>
------	---

2年度事業実績及び現況と令和2年度の発行をめざして、「（仮称）千代田区女性史」の編纂作業を進めます。	区民自らの手で、千代田区ならではの地域特性を踏まえた女性史として編纂していくとともに、特に若い世代に読んでもらうため、レイアウト・デザイン等の工夫や電子化の検討が必要です。
--	--

所管課 地域振興部 国際平和・男女平等・人権課	決算参考書	186頁	H30予算の概要	138頁
-------------------------	-------	------	----------	------

60 生活環境改善関連事業【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます			
事業概要	内容	区は、全国に先駆けて、路上喫煙を禁止する「安全で快適な千代田区の生活環境の整備に関する条例（生活環境条例）」を定め、地域の方々と「合同パトロール」や「一斉清掃」などの環境美化活動を行っています。さらに、職員が区内を巡回し、路上喫煙や路上放置物に対して指導・警告、罰則の適用を行い、安全で快適なまちづくりに努めています。			
	事業開始年度	平成14年度（屋内喫煙所設置助成は平成21年度、客引き行為等の防止対策は平成26年度）			
事業費・コスト	予算現額		決算額	執行率	
	(1) 生活環境改善推進		40,971,000円	32,519,269円	79.4%
	(2) 喫煙所設置対策		173,998,000円	128,470,365円	73.8%
	(3) 客引き行為等の防止対策		37,537,000円	25,372,656円	67.6%
	コスト単位	(1) 地区1haあたり		(933 ha)	
		(2) 喫煙所1か所あたり		(42 か所)	
		(3) 区民1人あたり		(64,584 人)	
	コスト内訳	事業費等 (A)	人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)	
	(1)	34,885円 [48.1%]	37,592円 [51.9%]	72,477円	[100.0%]
	(2)	3,058,818円 [94.0%]	193,994円 [6.0%]	3,252,812円	[100.0%]
(3)	393円 [73.7%]	140円 [26.3%]	533円	[100.0%]	
事業実績	○平成30年度実績				
	(1) 喫煙所の設置補助 区では喫煙スペースを確保するため、民間事業者が空きビルを活用して誰もが利用できる屋内喫煙所を設置する場合には、その工事費用と維持管理費用の助成を行っています。				
	【助成実績】新規設置助成：4か所 維持管理費用助成：26か所				
	(2) 喫煙トレーラーの配置 喫煙所の設置について多角的に取り組むため、移動型の屋内喫煙所である喫煙トレーラーを神田錦町のちよだプラットフォームスクウェアに1台設置しました。				
(3) 公園の禁煙化 保育園の代替園庭になっている公園を中心に生活環境条例の路上禁煙地区として指定しました。平成30年4月及び平成31年1月に計23か所の公園を禁煙化しました。公園内の灰皿、屋外喫煙所を撤去し、近隣喫煙所への案内員を配置しました。					
(4) 客引き行為等の防止対策 区は独自に客引き防止条例を定め、安全で快適なまちの実現に取り組んでいます。重点地区として神田駅周辺及び秋葉原駅東部地域を指定してパトロール等を実施しています。平成30年度は水道橋駅周辺に街頭スピーカーを増設し、来街者に対して注意喚起を促しました。					
2年度事業実績及び現況と令和対応	近年、受動喫煙に対する意識の高まりから喫煙場所が減少しており、罰則の適用されない公園や私有地などに喫煙者が集中するようになりました。				
	これらの課題を解決するため、令和2年度は、令和元年度に引き続き、屋内喫煙所設置助成制度のさらなる周知や喫煙トレーラーの活用等により、喫煙場所の確保を図り、喫煙者と非喫煙者の共生をめざします。また、令和2年度は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催年であることから、受動喫煙対策に関する国及び都の動きを踏まえ、国内外の来訪者に対して、喫煙所等に関する情報提供に努めていきます。				
所管課 地域振興部 安全生活課		決算参考書	186頁	H30予算の概要	116頁

61 ちよだ安全・安心ネットワークの推進【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます
------------------------	---------------------------

事業概要	内容	区民が、安全で安心して暮らせるまちづくりのために、犯罪を未然に防止し、併せて生活環境の改善を図るため、安全パトロールを基本に、生活環境パトロール、道路夜間パトロールを組み合わせ、平成28年度からは客引き等への注意・指導を行うなど、24時間365日体制で青色回転灯パトロールカーによる巡回を実施しています。パトロールの結果報告（1日2回）に基づき、改善が必要な事項については、関連部署と連携して改善を行っています。 区内4警察署・4防犯協会と連携し、地域で活動している事業者の方が、本来の業務に防犯の観点を加えることにより、不審者の発見と犯罪の抑止及び早期解決をめざしています。
	事業開始年度	平成16年度


事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	78,465,000円		68,676,340円		87.5%		
	コスト単位	パトロール1日あたり (365日)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
		188,154円	[95.1%]	9,599円	[4.9%]	197,753円	[100.0%]

事業実績	○平成30年度実績 (1) 安全・安心パトロール 平成30年度から青色回転灯パトロールカーの運行台数を2台から3台に増やし、パトロール体制の強化を図りました。その結果、苦情・注意（公園内等）、客引き、ホームレス対応、不審者重点警戒巡回、登下校見守りサポート等に関する報告件数は、平成29年度の約2.5倍に増加しました。					
		青色回転灯パトロールカーの運行台数		報告件数		
	平成30年度	3台		16,737件		
	平成29年度	2台		7,079件		
	(2) ちよだ安全・安心ネットワーク 現在30の事業所と協定を結んでおり、主な協定締結事業所は、郵便事業、宅配業者などです。					
	(3) 地域防犯パトロール団体活動助成 町会等によって自主的に結成された団体が実施する地域防犯パトロールの活動に対し、必要な資機材を給付することにより、団体の効果的な活動を助成し、もって地域の安全・安心及び良好な生活環境の確立に貢献しています。					

2年度事業実績及び予算への対応	区民が安全で安心して暮らせるまちの環境を整えるためには、犯罪を未然に防止し、生活環境のさらなる改善を図ることが必要です。 令和2年度は、令和元年度に引き続き、地域を中心に事業所、警察等の関係機関との連携を強化していくことで、より安全で安心して暮らすことのできるまちづくりの実現をめざします。
-----------------	--

所管課 地域振興部 安全生活課	決算参考書	186頁	H30予算の概要	118頁
-----------------	-------	------	----------	------

62 ちよだ安心トイレの推進【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます		
事業概要	内容	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中、民間事業者が所有・管理するトイレについて、区が「ちよだ安心トイレ」として位置づけ、区内を訪れる観戦客や来街者に対し、その情報（所在地や設備など）を発信することにより、街なかで安心して過ごせる環境を整えていきます。</p> <p>区は、消耗品等相当額として協力事業者に対し、施設ごとに一律で協力金による支援を行っています。</p> <p>なお、本事業は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が終了する令和2年9月6日までの時限事業です。</p>		
	事業開始年度	平成30年度		
事業費・コスト	予算現額	決算額		執行率
	6,583,000円	6,201,288円		94.2%
	コスト単位	開放施設 1 か所あたり		(42 か所)
	コスト内訳	事業費等 (A)	人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)
	147,650円 [55.9%]	116,396円 [44.1%]	264,046円 [100.0%]	
事業実績	<p>○平成30年度実績</p> <p>区内のオフィスビル、商業施設やホテル、コンビニエンスストアなど、20の事業者と協定の締結を行い、42か所の施設でちよだ安心トイレとして利用ができるようになりました。</p> <p>(1) 協定締結式</p> <p>①日時 平成31年1月16日(水) ※東京2020オリンピック競技大会555日前</p> <p>②会場 区役所本庁舎4階 会議室A・B</p> <p>③内容 趣旨説明、協定の締結、区長挨拶、記念撮影</p> <p>(2) ちよだ安心トイレ利用可能施設 (平成31年3月現在)</p> <p>①神田・秋葉原・御茶ノ水エリア 13か所</p> <p>②大手町・丸の内・有楽町エリア 10か所</p> <p>③永田町・霞ヶ関エリア 2か所</p> <p>④四ツ谷・市ヶ谷エリア 3か所</p> <p>⑤九段下・飯田橋エリア 14か所</p>			
	 <p>▲表示パネル</p>			
現況と令和2年度予算への対応	<p>来街者が安心・快適に過ごせる環境を整えていくために、ちよだ安心トイレを増やしていく必要があります。</p> <p>令和元年度は、引き続き民間事業者への協力を働きかけていくとともに、公衆・公園トイレ及び公共施設で利用できるトイレも含めた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中の情報発信の方法について検討していきます。</p> <p>令和2年度は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会観戦客などに対し、多言語にも対応した情報発信を行います。</p>			
所管課	地域振興部 生涯学習・スポーツ課 (オリンピック・パラリンピック担当課長)	決算参考書	186頁	H30予算の概要 118頁

63 中小企業等経営支援【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		中小企業や商工業の活性化を支援します					
事業概要	内容	<p>区内の事業所は従業員が20人以下の中小企業や個人事業主（以下「中小企業等」という。）が約8割を占めていますが、経営規模が小さいなどの理由で経営が不安定な事業所が多いのが実情です。</p> <p>このため、区内中小企業等の経営支援は重要な課題であり、以前から商工融資事業と経営相談事業を二本柱として経営支援を行ってきたところですが、これに加え更なる支援を行うため、従来の「中小ビル経営支援」を中小企業等への支援を全般的に行う事業として「中小企業等経営支援」に改め、中小ビルを含む既存の区内中小企業等経営者に対し、きめ細やかな支援を行います。加えて、新たに創業を希望する方もバックアップすることで、区内商工業のさらなる活性化を後押しします。</p>					
	事業開始年度	平成27年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	4,919,000円		4,496,880円			91.4%	
	コスト単位	対象事業所1か所あたり			(24,149か所)		
	コスト内訳	事業費等(A)		人件費(按分)(B)		総コスト(C=A+B)	
186円		[84.5%]	34円	[15.5%]	220円	[100.0%]	
事業実績	<p>○平成30年度実績</p> <p>中小企業支援ガイドブックを2,000部作成し、商工観光課窓口のほか各公共施設、区内商工関係団体、区内金融機関、都中小企業企業振興公社、(公財)まちみらい千代田等の関係機関を通じて中小企業者に向け配布しました。</p> <p>併せて、区ホームページに電子版を掲載し、さまざまな手段で取得できるようにしました。</p> <p>(1) ガイドブックの内容</p> <p>区の事業だけでなく、国・都等公的機関や中小企業支援機関の実施する相談事業や補助事業を網羅的に掲載し、さまざまな経営課題を抱える中小企業者のニーズに対応しています。</p> <p>(2) ガイドブックの特長</p> <p>支援事業の一覧的なガイドブックではなく、経営課題に基づき、支援事業が選定できるよう課題別に整理した目次を掲載している他、①経営改善分析表、②活用成功事例、③相談窓口活用方法も掲載し、それぞれの実情にマッチした支援メニューを見つけやすい構成となっています。</p>						
	現況と令和2年度予算への対応	<p>区内中小企業等に対して、持続的な経営基盤を構築するための収益力の向上に資する支援を行っていくことが必要です。</p> <p>このため、令和元年度は、創業期や事業転換期などリスクの高い局面にある中小企業等の販路拡大の機会を確保するため、新たに「中小企業販路拡大事業支援補助」を開始し、中小企業等が展示会に出展する際の費用や、商工関係団体が展示会を開催する際の費用の一部を補助します。</p> <p>令和2年度は、ガイドブックの掲載内容や展開方法を再検証し、実態に即した支援メニューを精査するとともに、令和元年度に引き続き中小企業販路拡大事業支援補助事業により区内中小企業等の販路拡大を推進し、区内商工業のさらなる活性化をめざします。</p>					
所管課 地域振興部 商工観光課		決算参考書		192頁	H30予算の概要		124頁

64 商店街等における外国人観光客のおもてなし対応【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		中小企業や商工業の活性化を支援します			
事業概要	内容	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、外国人観光客の一層の増加が見込まれています。千代田区を訪れる外国人観光客に、安心して食事や観光を楽しんでもらうためには、外国人観光客に接する商店街などの人々が他国の文化を正しく理解し、地域全体に「おもてなし」のこころを醸成することが必要となります。</p> <p>このような状況を踏まえ、区内の商店会に加盟する店舗等を対象として、近年増加傾向にあるムスリム観光客の食文化や信仰上のきまりなどについて正しい知識の普及を図るためのセミナーを開催するとともに、外国人観光客が安心して食事を楽しむことができるような店舗の開発等を通して、おもてなしの態勢づくりに取り組んでいきます。</p>			
	事業開始年度	平成29年度			
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率
	5,949,000円		5,582,520円		93.8%
	コスト単位	対象店舗1店舗あたり (1,388店舗)			
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)
4,022円 [77.4%]		1,174円 [22.6%]	5,196円 [100.0%]		
事業実績	<p>○平成30年度実績</p> <p>(1) モデル店舗支援 本年度は区内のムスリム対応を希望する2つのモデル店舗に対して支援を行い、メニュー開発やメニューリストの作成に関する指導助言等を行いました。</p> <p>(2) ムスリムセミナー 区内の飲食店、宿泊施設、観光施設及び商工関係団体等を対象として、ムスリムに関する基本的知識、ムスリム観光客を集客する方策及び飲食店等がムスリム観光客を受け入れるにあたって必要な心構え、対応策及び取組事例について理解を促すセミナーを2回開催し、ムスリムモデル店舗への支援内容も報告しました。</p> <p>(3) ムスリムマップの作成 区内でハラール対応を実施している飲食店、祈祷室を設置している場所、お土産を購入できる店舗等の情報を掲載したマップを2万部発行し、観光案内所、ホテル、商店会、区関係機関に配布しました。</p>				
現況と令和2年度予算への対応	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を目前に控え、商店街等において外国人おもてなしの態勢づくりを加速させるためには、区の支援による成功事例を増やしていくとともに、これをモデルケースとして効果的に周知することが求められます。</p> <p>令和元年度は、平成30年度に新たに取り入れたモデル店舗への支援数を拡充するとともに、セミナーやマップ作成による成功事例の普及啓発に引き続き取り組みます。また、モデル店舗を活用したムスリム観光客向けの観光コースの創設にも取り組みます。</p> <p>令和2年度は、令和元年度に引き続きモデル店舗支援を行う事で、ムスリムマップにおける掲載店舗数を拡充するとともに、ムスリム対応店舗と観光地をつなぐムスリム観光コースを掲載するなど、ムスリム観光客に対して有用な情報の発信に努めていきます。</p>				
所管課 地域振興部 商工観光課		決算参考書	192頁	H30予算の概要	124頁

65 観光支援事業【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	千代田区の魅力を効果的に発信するとともに、地方との 連携により、区内地域の活力を高めます
------------------------	---

事業概要	内容	平成30年まで7年連続で訪日外国人が増え続けており、本区を訪れる外国人の増加も見込まれます。そのため、外国人向け観光案内所を運営する中小企業者及び商工関係団体等に対して、その運営に要する経費の一部を補助します。補助により観光案内所の多言語化を推進し、区内を訪れる外国人観光客等の利便性及び満足度の向上を図ることで、区内の産業の活性化に寄与することを目的としています。令和3年3月までの時限事業です。
	事業開始年度	平成27年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	16,664,000円		11,796,200円		70.8%		
	コスト単位	観光案内所1か所あたり (4か所)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
2,949,050円		[87.9%]	407,388円	[12.1%]	3,356,438円	[100.0%]	

事業実績	○平成30年度実績					
	(1) 施設別補助実績金額					
	4か所の観光案内所について、多言語での観光案内を行うための人材確保に要する経費の一部を補助し、案内所の運営を支援しました。					
	(補助率2/3、補助限度額3,330,000円)					
		案内所名	補助対象金額(円)	補助率	補助金額(円)	運営団体
	1	アキバ・インフォ (外神田四丁目14番1号 UDXビル2階)	5,391,059	2/3	3,330,000	秋葉原タウンマネジメント(株)
	2	本と街の案内所 (神田神保町一丁目15番 小学館ギャラリーBH神保町内)	6,196,944		3,330,000	NPO法人 連想出版
	3	お茶ナビゲート (神田駿河台四丁目6番 お茶の水ソラシティB1階)	5,440,839		3,330,000	NPO法人 連想出版
	4	神田インフォメーション【新規】 (神田鍛冶町二丁目13番1号 神田駅構内)	783,000		522,000	神田駅周辺エリアマネジメント協会
	合計		17,811,842		10,512,000	
(2) 観光案内所連絡会の開催						
区内6観光案内所、日本政府観光局、一般社団法人千代田区観光協会及び区が参加し、意見交換を2回行いました。						
①平成30年10月25日 ②平成31年3月18日						
(3) 観光案内所マップの作成						
区内観光案内所の利用者数増や今後増加が見込まれる外国人観光客の受入体制の強化のため、観光案内所を紹介するマップを作成し、区内・周辺区・都の観光情報センターや区内のホテル等で配布を行いました。						
発行部数：日本語版12,000部 英語版18,000部						

2 事業 年度 課題 実績 及び 現況 と 令和 対応	外国人観光客数の増加に伴い、観光案内所のニーズも多様化しています。本事業が東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される令和2年度末で時限を迎えることを見据え、今後の支援・連携のあり方を検討する必要があります。令和元年度は、新規補助対象の観光案内所を検討するとともに、連絡会を引き続き開催し、幅広い情報交換の機会を設けるほか、区が把握する情報の発信に努め連携を強化していきます。令和2年度は、各補助対象施設との意見交換を密に行い、本事業の成果や問題点を十分把握したうえで、今後の連携方法を検討します。
---	---

所管課 地域振興部 商工観光課	決算参考書	192頁	H30予算の概要	121頁
-----------------	-------	------	----------	------

66 Wi - Fi 環境整備の推進【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		千代田区の魅力を効果的に発信するとともに、地方との 連携により、区内地域の活力を高めます																						
事業概要	内容	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、増加傾向にある外国人観光客へのインターネット接続環境を提供することを目的に、CHIYODA Free Wi-Fiのアクセスポイントの設置・運用を行っています。 また、接続時に区内の観光情報ホームページ等を表示することで、区の魅力を効果的に発信していきます。 加えて、観光施策をはじめ多様な活用を目的にCHIYODA Free Wi-Fiの利用者データ等の動線分析を行います。																						
	事業開始年度	平成27年度																						
事業費・コスト	予算現額	45,042,000円		決算額	31,447,872円	執行率	69.8%																	
	コスト単位	AP（アクセスポイント）1か所あたり			（49か所）																			
	コスト内訳	事業費等（A）		人件費（按分）（B）		総コスト（C=A+B）																		
		641,793円	[90.6%]	66,512円	[9.4%]	708,305円	[100.0%]																	
事業実績	○平成30年度実績 （1）アクセスポイントの増設 ビッグデータ分析により外国人観光客の利用数・利用率の水準が高いことが判明した秋葉原エリア（中央通り）に2か所新設しました。これにより、中央通りには計9か所のアクセスポイントが設置され、利用者の利便性が向上しました。																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>設置か所</th> <th>設置か所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>秋葉原中央通り</td> <td>2か所</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>秋葉原中央通り等</td> <td>10か所</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>区内駅出入り口付近等</td> <td>35か所</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>千鳥ヶ淵ボート場等</td> <td>2か所</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>49か所</td> </tr> </tbody> </table> <p>（2）ビッグデータ分析 庁内の各課からのビッグデータ分析項目に関する要望を踏まえたデータ分析を行ったほか、分析内容の公開に向けて事業者と調整しました。</p> <p>（3）Wi-Fi PRカードの作成 利用者数増加を目的として、CHIYODA Free Wi-Fiの利用方法等をまとめたWi-Fi PRカードを作成しました。多くの外国人観光客が区を訪れる観桜期のさくらまつり会場で配布を開始し、区内の観光案内所やホテルでの配布も行いました。</p>							年度	設置か所	設置か所数	平成30年度	秋葉原中央通り	2か所	平成29年度	秋葉原中央通り等	10か所	平成28年度	区内駅出入り口付近等	35か所	平成27年度	千鳥ヶ淵ボート場等	2か所	合計	
年度	設置か所	設置か所数																						
平成30年度	秋葉原中央通り	2か所																						
平成29年度	秋葉原中央通り等	10か所																						
平成28年度	区内駅出入り口付近等	35か所																						
平成27年度	千鳥ヶ淵ボート場等	2か所																						
合計		49か所																						
2年度事業実績を踏まえた 課題及び現況との対応	事業目的や費用対効果、外国人観光客のインターネット利用方法等を考慮し、サービスの提供方法を適宜見直していく必要があります。また、ビッグデータ分析をより有効に活用できる手段について検討が必要です。 令和元年度は、ビッグデータ分析内容を検証し、増設するアクセスポイントの候補地を精査するほか、既に設置してあるアクセスポイントの移設についての検討も行います。また、ビッグデータ分析内容の公開を予定しています。 令和2年度は、令和元年度に引き続きアクセスポイントの増設、移設候補地の精査や、ビッグデータ分析の本格的な活用を図るほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の事業の方向性を検討します。																							
所管課	地域振興部	商工観光課	決算参考書	192頁	H30予算の概要	121頁																		


67 千鳥ヶ淵ボート場【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		千代田区の魅力を効果的に発信するとともに、地方との 連携により、区内地域の活力を高めます		
事業概要	内容	千鳥ヶ淵ボート場は千鳥ヶ淵の風致の鑑賞と区民等のレクリエーションを目的に開設されました。また、平成20年度には施設の老朽化に伴い大幅な改築を行い、利便性の向上を図りました。 原則として月曜日を除き毎日営業しています（12月1日～2月28日は休業）。特にさくらまつりが開催される観桜期には多くの利用者が来場し、近年は海外からの観光客の利用も増えています。		
	事業開始年度	昭和24年度		
事業費・コスト	予算現額	決算額		執行率
	38,877,000円	30,481,919円		78.4%
	コスト単位	30分利用1回あたり		(23,115回)
	コスト内訳	事業費等 (A)	人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)
	1,319円 [92.6%]	106円 [7.4%]	1,425円 [100.0%]	
事業実績	○平成30年度実績 外国人観光客による利用が増加傾向にある状況を踏まえ、新たに多言語対応スタッフを常駐させたほか、さくらまつり開催に伴うライトアップ期間には多言語対応スタッフを増員する等サービスの質の向上を図りました。 運営にあたっては、ニーズの高い足漕ぎボートの台数を倍に増やしたほか、ライトアップ期間に合わせて営業時間を延長し、夜桜の鑑賞に訪れた観光客に普段味わうことのできないレクリエーションの機会を提供するなど、満足度の向上に努めました。 また、来場者へのおもてなしの一環としてお濠の生き物の展示を行ったほか、利用者が減る夏季にうちわや経口補水液を配付し、安全かつ快適にボート場を楽しめる環境整備に努めました。			
		平成30年度	平成29年度	平成28年度
	利用回数	23,115回	31,537回	12,877回
	利用者数	38,662名	45,594名	20,853名
	うち外国人利用者数	16,642名	15,036名	
	利用料	17,037,300円	26,266,400円	9,141,200円
現況と令和2年度予算への対応	風光明媚な千鳥ヶ淵に位置するボート場は、本来季節を問わず観光客が楽しめる場所ですが、観桜期以外も利用実績を向上させることが課題です。 令和元年度は、新たに作成したボート場カード等を活用することでボート場の周知と利用者増に努めるなどの対策を図っていきます。 令和2年度は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の会場が隣接している立地上の特性を活かして、国内外から訪れる観光客にボート場を認知してもらえりようなPR方法を検討するとともに、近年実施してきたサービスの充実、おもてなし等の施策の磨き上げを図ります。			
所管課	地域振興部 商工観光課	決算参考書	192頁	H30予算の概要 121頁

68 観光協会運営補助等【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		千代田区の魅力を効果的に発信するとともに、地方との 連携により、区内地域の活力を高めます				
事業概要	内容	一般社団法人千代田区観光協会は、区の観光施策を担う中核組織として、区内の多様な活動主体を結び付け、また、区の魅力を磨き上げて発信する役割を果たしており、区は観光協会の取組みを側面から支援するため、運営補助等を行っています。				
	事業開始年度	平成23年度				
事業費・コスト	予算現額			決算額	執行率	
	(1) 観光協会運営補助		112,851,000円	98,953,246円	87.7%	
	(2) さくらまつり		89,856,000円	89,856,000円	100.0%	
	コスト単位	(1) 1会員あたり		(239 会員)		
		(2) さくらまつり開催1日あたり		(12 日)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)	
	(1)	414,030円	[94.6%]	23,864円	[5.4%]	437,894円
(2)	7,488,000円	[97.4%]	203,694円	[2.6%]	7,691,694円	[100.0%]
事業実績	○平成30年度実績 観光協会の体制強化及び今後も増加が見込まれる外国人観光客への対応を図るため、以下の取組みを中心に補助等を行いました。					
	<p>(1) さくらまつり 千鳥ヶ淵緑道でさくらまつりを12日間(平成31年3月27日～4月7日)開催(観光協会の企画・立案機能強化の観点から運営方法を見直し、本部運営等について外部委託化を実施)。 なお、平成30年度から「さくらまつり事業」の実施に関しては従来の補助対象とはせず、出せん金として支出をしています。</p> <p>(2) 観光情報発信 情報発信力の強化を目的として、以下の事業を実施。 ①ウェブサイトのリニューアル ②総合観光ガイドブック作成(日本語版・英語版・バリアフリー版) ③観光案内所の運営(多言語対応スタッフを常時配置)、東京マラソンEXPO出展、皇居乾通り一般公開への協力</p> <p>(3) 外国人観光客受入環境整備 観光ガイド運営事業を主催するボランティア団体と連携し、各イベント等で多言語による外国人観光客への対応を実施。</p>					
現況と令和2年度予算への対応	<p>区には国内外から多数の観光客が訪れていますが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、今後もますます観光客の増加が見込まれます。この立地上のメリットを活かし、区内全域でさまざまな区内事業者、関係団体等が恩恵を享受できるよう、多言語により効果的に区の魅力を発信することで、区内の回遊性向上を促す取組みが必要です。</p> <p>令和元年度は、情報発信力のさらなる強化を目的に、SNS運営やウェブサイトの動画を中心としたコンテンツ充実、ガイドブックの多様化、観光案内窓口の土日祝営業等に重点的に取り組みます。</p> <p>令和2年度は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の状況も見据えながら、ウェブサイトのさらなるコンテンツ充実や継続的な情報発信に努め、区の魅力の発掘や磨き上げ、創出を図ります。また、自主財源確保による体制強化に向けた取組みを検討していきます。</p>					
所管課 地域振興部 商工観光課		決算参考書	192頁	H30予算の概要	120頁	

69 地域資源を活用したおもてなし事業【新規】

<p>ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標</p>		<p>千代田区の魅力を効果的に発信するとともに、地方との連携により、区内地域の活力を高めます</p>								
<p>事業概要</p>	<p>内容</p>	<p>千代田区に住み、または訪れる方に、区の魅力に直接触れてもらうことにより、千代田区に誇りと愛着を持ってもらうことを目的に、特別デザインの婚姻届受理証明書の発行を希望する方々に、区の観光資源である「さくら」を活用した記念品を贈呈しています。</p>								
	<p>事業開始年度</p>	<p>平成30年度</p>								
<p>事業費・コスト</p>	<p>予算現額</p>		<p>決算額</p>		<p>執行率</p>					
	<p>1,512,000円</p>		<p>1,512,000円</p>		<p>100.0%</p>					
	<p>コスト単位</p>	<p>記念品 1 個あたり (1,440 個)</p>								
	<p>コスト内訳</p>	<p>事業費等 (A)</p>		<p>人件費 (按分) (B)</p>		<p>総コスト (C=A+B)</p>				
<p>1,050円</p>		<p>[65.0%]</p>	<p>566円</p>	<p>[35.0%]</p>	<p>1,616円</p>	<p>[100.0%]</p>				
<p>事業実績</p>	<p>○平成30年度実績 さくらの名所・千鳥ヶ淵のさくらの葉のエキスを原材料としたオリジナル入浴用粉末を贈呈しました。オリジナル入浴用粉末は、パッケージにも趣向を凝らし、水引を使うことで慶事に対する祝福の気持ちを表しました。</p>									
	<table border="1"> <tr> <td>記念品</td> <td>配付数</td> </tr> <tr> <td>入浴用粉末</td> <td>941個</td> </tr> </table>		記念品	配付数	入浴用粉末	941個	 <p>▲入浴用粉末</p>			
記念品	配付数									
入浴用粉末	941個									
<p>事業実績を踏まえた課題及び 現況と令和2年度予算への対応</p>	<p>本事業は区の地域資源を活用することによって、区の魅力に触れるきっかけを作るものであり、さらなる地域資源の発掘と、その活用方法について検討する必要があります。</p>									
	<p>令和2年度は、令和元年度に引き続き入浴用粉末を贈呈するとともに、他の地域資源を発掘し、その資源を活用した記念品の検討も行うなど、千代田区に愛着を持つファン裾野の拡大に努めていきます。</p>									
<p>所管課 地域振興部 商工観光課</p>			<p>決算参考書</p>		<p>194頁 H30予算の概要</p>		<p>122頁</p>			

70（仮称）外神田一丁目公共施設整備

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		地域力の向上を支援します				
事業概要	内容	<p>秋葉原地域は、日本全国はもとより海外からも多くの観光客が訪れ、「電気の街」、「ポップカルチャーの聖地」とも言われる代表的な観光地であり、交通の利便性が高い地域です。</p> <p>とりわけ外神田一丁目地区は、神田川や万世橋、JR中央本線高架のレンガアーチ等に近接しており、都心部に残された貴重な水辺空間を活用し、秋葉原全域の魅力や価値を引き立てる潜在力を持っています。</p> <p>以上のような地域特性を踏まえ、平成30年度は、万世橋出張所・区民館、子どもの施設、外郭団体の事務所等を主とする公共施設の建設工事に着手し、令和2年度秋の開設をめざします。</p>				
	事業開始年度	平成27年度				
事業費・コスト	予算現額			決算額	執行率	
	(1) 工事費		315,500,000円	312,700,000円	99.1%	
	(2) 事務費		17,009,000円	16,275,700円	95.7%	
	コスト単位	(1) 整備1施設あたり		(1 施設)		
		(2) 整備1施設あたり		(1 施設)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)	
	(1)	312,700,000円	[99.0%]	3,097,776円	[1.0%]	315,797,776円
(2)	16,275,700円	[99.0%]	161,326円	[1.0%]	16,437,026円	[100.0%]
事業実績	○平成30年度実績 工事請負契約（4件）を締結して建設業者を決定し、建設工事に着手しました。					
	実施日	事項				
	平成30年4月10日	(仮称) 外神田一丁目公共施設建設協議会の開催				
平成30年11月15日	(仮称) 外神田一丁目公共施設新築工事工事説明会の開催					
<p><施設建設の概要> 施設名：(仮称) 外神田一丁目公共施設 所在地：外神田一丁目1番13号 施設規模：延床面積 3,651.44㎡ 階数 地上8階、地下1階 開設：令和2年度</p>						
2年度事業実績を踏まえた 課題及び現況への対応	<p>現在進行中の建設工事の状況を注視しながら、適宜、地域に情報提供するとともに、地域の声に真摯に対応していく必要があります。</p> <p>令和元年度は、引き続き地域との調整役を務めるとともに、検討中であった4～6階の活用用途を確定させ、令和2年度の竣工・開設をめざします。</p>					
所管課 地域振興部 万世橋出張所			決算参考書	194頁	H30予算の概要 135頁	

71 証明書コンビニ交付【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します					
事業概要	内容	<p>多様化する証明書の取得に関する要望に対応し、区民の利便性向上を図るため、個人番号カードを利用して、全国のコンビニエンスストアに設置されている専用の端末で住民票の写し等の公的証明書を取得できる、証明書コンビニ交付サービスを平成31年2月15日から開始しました。</p> <p>交付対象となる証明書は、住民票の写し、印鑑登録証明書、課税証明書、課税・納税証明書、区に本籍を置いている方の戸籍全部（個人）事項証明書及び戸籍の附票の写しです。</p>					
	事業開始年度	平成30年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	125,166,000円		107,088,426円			85.6%	
	コスト単位	取扱件数1件あたり				(764件)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
140,168円		[94.9%]	7,465円	[5.1%]	147,633円	[100.0%]	
事業実績	○平成30年度実績						
	コンビニ交付端末証明書発行数 (単位：通)						
	証明書の種類		平成30年度 ※				
	住民票の写し		359				
	印鑑登録証明書		250				
	課税証明書		7				
	課税・納税証明書		15				
	戸籍全部（個人）事項証明書		115				
戸籍の附票の写し		18					
合計		764					
※平成31年2月15日～平成31年3月31日							
現況と令和2年度予算への対応	平成31年2月からコンビニ交付サービスを提供していますが、区民の認知度が十分でないため、さらなる周知を行う必要があります。						
	<p>令和元年度は、転入手続きや交付された個人番号カードを受け取りに来庁した区民を中心にサービス内容を紹介をするとともに、郵便請求等、区外からのお客様に対しても返送時に案内するなど、広く周知していきます。</p> <p>令和2年度は、証明書発行数や個人番号カード交付率等の実績を踏まえて、さらなるコンビニ交付利用実績の増加に努めていきます。</p>						
所管課 地域振興部 総合窓口課			決算参考書		196頁	H30予算の概要	140頁

72 文化芸術活動支援【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		豊かな歴史や文化資源、文化芸術を気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます			
事業概要	内容	(1) 区の持つ文化的・歴史的な魅力をアピールするとともに、文学の担い手として新たな才能を発掘するために実施します。 (2) 区民等が芸術に触れる機会を提供するため、さまざまな事業を実施します。 (3) 文化芸術活動の成果を発表し、区民等が交流する場を創出することにより、活動のさらなる発展と文化芸術環境の向上を図ります。 (4) 区内で活動する文化団体が自主的・自発的に提案する文化事業に対し、補助することにより、区民の文化芸術活動を促進します。			
	事業開始年度	平成16年度			
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率
	(1) ちよだ文学賞	11,780,000円	8,860,150円	75.2%	
	(2) 文化芸術鑑賞事業	28,849,000円	19,109,460円	66.2%	
	(3) 文化芸術の秋フェスティバル	9,686,000円	8,475,260円	87.5%	
	(4) 文化事業助成	10,089,000円	9,166,516円	90.9%	
	コスト単位	(1) 応募1点あたり	(539点)		
		(2) 参加者1人あたり	(5,539人)		
		(3) 参加者1人あたり	(4,350人)		
		(4) 助成1件あたり	(9件)		
	コスト内訳	事業費等 (A)	人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)	
(1)	16,438円 [59.2%]	11,337円 [40.8%]	27,775円 [100.0%]		
(2)	3,450円 [71.6%]	1,368円 [28.4%]	4,818円 [100.0%]		
(3)	1,948円 [57.8%]	1,424円 [42.2%]	3,372円 [100.0%]		
(4)	1,018,502円 [86.9%]	153,902円 [13.1%]	1,172,404円 [100.0%]		
事業実績	<p>○平成30年度実績</p> <p>(1) ちよだ文学賞・ちよだジュニア文学賞</p> <p>①ちよだ文学賞 : 応募336点(大賞 1人 千代田賞 1人)</p> <p>②ちよだジュニア文学賞 : 応募203点(受賞者 4人 優良賞 8人)</p> <p>(2) 文化芸術鑑賞事業</p> <p>①昼休みコンサート来場者 : 702人 ②ちよだシーズンコンサート来場者 : 301人</p> <p>③文化芸術鑑賞 : 鑑賞チケット助成をした公演数20(販売枚数820枚)</p> <p>(3) 文化芸術の秋フェスティバル入場者数・参加者数</p> <p>①作品展 : 1,205人 ②オーケストラ : 720人 ③コーラス : 1,435人</p> <p>④芸能のつどい : 887人 ⑤囲碁(参加者数) : 57人 ⑥将棋(参加者数) : 46人</p> <p>(4) 文化事業助成</p> <p>①補助金額の上限 : 2,000,000円(前年度 : 500,000円)</p> <p>②助成団体数 : 9団体(前年度 : 2団体)</p> <p>③補助額 : 9,127,000円(前年度 : 600,000円)</p> <p>④補助割合 : 補助対象経費の内、会場費を除いた自己負担額の5分の4と会場費の10分の9の合計金額(前年度 : 自己負担額の2分の1)</p>				
2年度事業実績を踏まえた令和2年度予算への対応	<p>区民の誰もが文化芸術に親しみ、触れることができる環境を整備するとともに、区民の自主的な文化芸術活動をより一層活気あふれるものにしていくように、その活動を支援していく必要があります。</p> <p>令和2年度は、令和元年度に引き続き、文学の担い手の育成や区民が文化芸術に触れ、文化芸術活動を積極的に行えるように各事業の充実を図ります。</p>				
所管課 地域振興部 文化振興課		決算参考書	198頁	H30予算の概要	131頁

73 ちよだ生涯学習カレッジ【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます
------------------------	---

事業概要	内容	区民が自ら学び、同じ目的を持つ仲間を見つけ、仲間とともに学び合い、一緒に何かを創る場として、「ちよだ生涯学習カレッジ」を開校しました。学びで人と地域をつなぎ、グローバルとローカル、社会と個人の交流の場となることをめざします。 また、卒業生は人材バンクに登録し、生涯学習コーディネーターやボランティアとして活躍できるよう、学習成果の地域での活用を進めていきます。
	事業開始年度	平成27年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	22,052,000円		22,051,980円		100.0%		
	コスト単位	学生1人あたり			(578人)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
		38,152円	[76.1%]	11,982円	[23.9%]	50,134円	[100.0%]

事業実績	○平成30年度実績					
	平成28年10月に「ちよだ生涯学習カレッジ」を開校し、運営しています。					
	(1) コース名	①「学びと地域のコーディネーター養成」コース（2年制） ②「千代田まちマイスター」コース（2年制）※新設				
	(2) 開講期間	①第1期（平成28年10月～平成30年7月） ②第2期（平成29年10月～平成31年7月） ③第3期（平成30年10月～令和2年7月）				
	(3) 開催日時	毎月2回程度／水曜日（第1期、第3期）・火曜日（第2期） いずれも19時～21時				
	(4) 開催場所	千代田区立九段生涯学習館他				
	(5) 対象	下記の①～③の条件全てに該当する方 ①20才以上 ②区内在住・在勤・在学 ③2年間継続して学ぶことができ、学習成果を地域活動やボランティア活動などを通して実践する意欲のある方				
	(6) 学生数	第1期 26人、第2期 17人、第3期 27人（平成30年10月現在）				
(7) 受講料	10,000円（年間）					

現況と令和2年度予算への対応	受講生の増加に向けて、事業の魅力発信と卒業生支援が課題です。					
	令和元年度は、卒業生が始めた活動の経費を一部補助する仕組みを作り、地域での活動がより広がり持続するよう支援します。また、新たな広報方法の導入や説明会の充実を図ります。さらに、コースの仕組みや卒業後の活動のあり方について、生涯学習推進委員会議で議論し、事業の方向性について検証します。 令和2年度は、令和元年度の検証結果を踏まえた事業を実施します。					

所管課	地域振興部	生涯学習・スポーツ課	決算参考書	198頁	H30予算の概要	126頁
-----	-------	------------	-------	------	----------	------

74 東京オリンピック・パラリンピック気運醸成事業【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます				
事業概要	内容	区では、平成26年度から東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運を醸成するため、団体・企業等が区民を対象に行う気運醸成イベントに対し、補助金による支援を行うとともに、大会の節目となる日や、区民体育大会において、参加型のイベント等を実施しています。 また、平成30年度から障害者スポーツ体験会を実施し、競技の体験やパラリンピアン等との交流を行うとともに、障害のある人のアート鑑賞、義足の着用体験などを通じ、障害者への理解を深める取組みも推進しています。				
	事業開始年度	(1) 平成26年度 (2) 平成30年度				
事業費・コスト	予算現額			決算額	執行率	
	(1) 東京オリンピック・パラリンピック気運醸成事業			6,720,000円	5,385,832円	80.1%
	(2) 障害者スポーツ体験			15,999,000円	6,934,664円	43.3%
	コスト単位	(1) 区民1人あたり		(64,584人)		
		(2) 参加者1人あたり		(408人)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)
	(1)	83円	[39.7%]	126円	[60.3%]	209円 [100.0%]
(2)	16,997円	[63.0%]	9,985円	[37.0%]	26,982円 [100.0%]	
事業実績	○平成30年度実績					
	(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会気運醸成事業補助金					
		補助件数	交付額	補助率	1件あたりの上限	
	平成30年度	5件	1,805,000円	2/3	500,000円	
平成29年度	6件	1,880,000円	1/2	500,000円		
平成28年度	4件	1,506,000円	1/2	500,000円		
(2) 東京2020オリンピック大会に向けた2年前イベント						
①実施日：平成30年7月24日 ②会場：区役所1階区民ホール ③来場者：約200名						
④内容：アスリートによる公開演技、日めくりモニターのお披露目 アスリートメッセージの発表						
(3) 障害者スポーツ体験会 (Let's play! パラスポーツちよだ2018～パラスポーツをやってみよう!～)						
体験会については、効果的・効率的な実施を心がけたことにより、必要最小限の予算の執行に留まりました。						
①実施日：平成30年12月7、8日 ②会場：スポーツセンター ③参加者：408名						
④内容：ブラインドサッカーほか競技体験、義足着用体験、障害者アート鑑賞						
2年度事業実績を踏まえた 課題及び現況への対応	区民の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運を高めていく必要があります。					
	令和元年度は、平成30年度に引き続き障害者スポーツ体験を実施するとともに、新事業として学校、幼稚園、保育園や地域の既存の行事・イベントにアスリートを招き、区内開催競技の体験などを実施するとともに、新たなイベントを企画するなど、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運を高める取組みを実施します。 令和2年度は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会本番に向け、さらに大会気運を高めるとともに大会後も引き続き障害者スポーツの体験・普及などレガシーを見据えた取組みを行います。					
所管課	地域振興部 生涯学習・スポーツ課 (オリンピック・パラリンピック担当課長)	決算参考書	200頁	H30予算の概要	127頁	

75 新スポーツセンター基本構想の策定【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます			
事業概要	内容	<p>現在のスポーツセンターは、昭和47年10月に完成し、竣工後46年が経過しており、老朽化が進み、バリアフリー対応も不十分です。</p> <p>また、多様化する利用者ニーズや社会環境の変化に対応した誰もが利用しやすい、新スポーツセンターの整備が求められている中、平成28年度は、整備に向けた調査を実施し、建設候補地の検討を行いました。</p> <p>「新スポーツセンター基本構想検討会」を平成30年度に設置し、千代田区新スポーツセンター基本構想（素案）を策定し、令和元年度にさらに検討を進め、基本構想を策定します。</p>			
	事業開始年度	平成28年度			
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率
	6,090,000円		5,570,082円		91.5%
	コスト単位	策定1件あたり			(1 件)
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)	
5,570,082円		[77.4%]	1,629,551円	[22.6%]	7,199,633円 [100.0%]
事業実績	○平成30年度実績				
	<p>(1) 千代田区新スポーツセンター基本構想（素案）の策定 平成30年6月に「新スポーツセンター基本構想検討会」を設置し、5回の検討会開催と、他自治体（墨田区・葛飾区）の現地調査を実施し、平成31年3月に千代田区新スポーツセンター基本構想（素案）を策定しました。</p> <p><コンセプト> 千代田区に住み、働き、学ぶすべての人が気軽にスポーツを楽しみ、生涯を通じて心と体とコミュニティを育むことができるスポーツのシンボルとなる中核施設</p> <p>(2) 検討会の開催経過と検討内容 第1回 7月2日：検討会の目的、スケジュール等の共有について 現地調査 7月31日：事例調査の実施 (墨田区総合体育館、葛飾区水元総合スポーツセンター) 第2回 8月30日：新スポーツセンターのあり方について 第3回 10月3日：基本構想（素案）骨子の作成について 第4回 12月17日：基本構想（素案）の作成について 第5回 3月22日：基本構想（素案）の承認について</p>				
事業実績を踏まえた課題及び 現況と令和2年度予算への対応	<p>「新スポーツセンター基本構想（素案）」を基に、導入機能の必要度・重要度等の検討や建設地を確定する必要があります。そのため、新スポーツセンターの具体化に向けて、体育協会をはじめとする区内のスポーツに関わる多様な関係者と合意を形成していく必要があります。</p> <p>令和元年度は、建設地や規模などを含めて検討を行い、基本構想を策定します。</p> <p>令和2年度は、令和元年度の実施状況を踏まえ、引き続き新スポーツセンターの整備に向けた準備を進めます。</p>				
所管課	地域振興部	生涯学習・スポーツ課	決算参考書	200頁	H30予算の概要 129頁

76 企画展・特別展【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	豊かな歴史や文化資源、文化芸術を気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます
------------------------	---

事業概要	内容	<p>日比谷図書文化館常設展示室では、「江戸・東京の成立と展開」を総合テーマに、「環境・人間・都市」を基本として、これまでの遺跡発掘調査や歴史資料調査によって明らかとなった千代田区の通史を扱う展示を、1万年以上前の旧石器時代から近現代までを対象に実物資料や映像等で紹介しています。</p> <p>また、特別展示室では、千代田区の歴史・文化に関連する分野からテーマを設定し収蔵資料を中心とした「企画展示」と、郷土の歴史をより深く理解できるように区の収蔵資料だけでなく、他機関からも資料を借用して展示する「特別展」を、それぞれ年1回開催しています。</p>
	事業開始年度	平成23年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	14,232,000円		13,293,665円		93.4%		
	コスト単位	入場者数・受講者数1人あたり (41,126人)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
323円		[46.2%]	376円	[53.8%]	699円	[100.0%]	

事業実績	○平成30年度実績 平成30年度は、共同企画特別展「夢二繚乱」・特別展「江戸から東京へ」をミュージアム連絡会加盟館・指定管理者との共催で開催しました。					
	展覧会名	会場	会期	来場者数	区民無料券利用数	備考
	①共同企画特別展「夢二繚乱」	東京ステーションギャラリー	平成30年5月19日(土)～7月1日(日)	34,963人	1,688人	関連講座等実施
②特別展「江戸から東京へ」	日比谷図書文化館特別展示室	平成30年10月5日(金)～12月2日(日)	6,163人	/	関連講座等実施 区民無料	

現況と令和2年度予算への対応	<p>区の持つ豊かな文化資源を多くの区民や外国人観光客などの来街者が気軽に楽しむために、理解しやすい企画展示を行う必要があります。</p> <p>令和元年度は、7月にミニ企画展「日本橋川と大名屋敷」として、千代田区大手町における埋蔵文化調査の成果を、1月には「江戸の書物」として斎藤吉之コレクションから和本関係資料を中心に紹介していきます。</p> <p>令和2年度は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催時期に、日比谷図書文化館において、区に寄託されている資料を中心に、江戸文化を紹介する特別展を開催していきます。その際、来日外国人向けの展示・解説についてもさらに充実させていきます。</p>
----------------	---

所管課 地域振興部 文化振興課	決算参考書	202頁	H30予算の概要	132頁
-----------------	-------	------	----------	------

77 文化財調査・研究【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		豊かな歴史や文化資源、文化芸術を気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます			
事業概要	内容	埋蔵文化財調査については、千代田区域がほぼ旧江戸城全域に該当するという地域特性から、経常的に遺跡存否確認調査や試掘調査、それに伴う整理作業を実施しています。 調査報告書については、おおむね2年間で、調査を行い、報告書を作成し刊行しています。 平成30年度は、学校資料調査報告書を作成しました。(区立学校資料・復興小学校含む) 平成23年の東日本大震災により毀損し、解体修理をしている国指定史跡常盤橋門跡については、修理工事の専門委員会を運営するとともに、修理工事調査報告書の作成を進めています。			
	事業開始年度	平成23年度			
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率
	31,017,000円		12,355,315円		39.8%
	コスト単位	区民1人あたり (64,584人)			
	コスト内訳	事業費等 (A)	人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)	
	30年度	191円 [75.2%]	63円 [24.8%]	254円	[100.0%]
事業実績	<p>○平成30年度実績</p> <p>(1) 学校資料調査報告書 「資料で読み解く千代田の小学校1」(200ページ、1,000部)</p> <p>(2) 国指定史跡常盤橋門跡修理工事専門委員会の開催(平成30年9月28日(金)) 国指定史跡常盤橋門跡修理工事専門委員会において検討した結果を修理工事に反映しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○橋面・橋台天端周辺部の復旧方針 ○解体部材等の活用方針 ○修理工事報告書の目次・構成案 <p>(3) 修理工事調査報告書の作成 掲載図版などの作成を進めましたが、工事期間の延伸により報告書作成までには至らなかったため、予算を令和元年度に繰り越しました。</p>				
現況と令和2年度予算への対応	<p>平成30年度に引き続き、収蔵資料の詳細調査・記録作成、区内文化財調査の準備、及び国指定史跡常盤橋門跡の修理に伴う修理工事調査報告書の作成を継続していく必要があります。</p> <p>令和元年度は、学校資料のうち、区立小学校で保管している資料について調査を進めていきます。また、区内に所在する文化財について、状況把握の調査方法について検討をします。なお、国指定史跡常盤橋門跡については、「修理工事専門委員会」を運営し検討の成果を修理工事に反映するとともに、「修理工事調査報告書」の作成を進めていきます。</p> <p>令和2年度は、令和元年度の学校資料の調査に基づき、調査報告書を作成し、刊行していきます。また、収蔵資料を適正に保存するため、必要な諸条件などについても、引き続き対応を進めます。</p>				
所管課 地域振興部 文化振興課		決算参考書	202頁	H30予算の概要	133頁

78 四番町図書館の仮施設整備【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標		豊かな歴史や文化資源、文化芸術を気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます					
事業概要	内容	<p>四番町図書館は、子どもから高齢者まで多くの地域住民の方が利用されている図書館です。また、おはなし会や読み聞かせ講座など、児童サービスの拠点として様々なイベント等も開催しています。</p> <p>(仮称)四番町公共施設整備に伴い、新四番町図書館が整備されるまでの間、地域住民の方への図書館サービスを継続して実施するため、仮施設を整備します。</p>					
	事業開始年度	平成30年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	71,500,000円		0円			0.0%	
	コスト単位	施設1か所あたり			(1か所)		
	コスト内訳	事業費等(A)		人件費(按分)(B)		総コスト(C=A+B)	
0円		[0.0%]	814,775円	[100.0%]	814,775円	[100.0%]	
事業実績	<p>○平成30年度実績</p> <p>四番町図書館仮施設として必要な条件に合致する物件の調査を行い、仮受け可能な物件について検討を行いました。</p> <p>【仮施設の条件】</p> <p>① 地域：地域の方が継続して利用できるよう、可能な限り現四番町図書館の近傍であること。</p> <p>② 規模：一定程度の図書館サービスが出来る(300㎡以上)スペースが確保できること。</p> <p>③ 用途：図書館として使用でき、不特定多数の方の出入りが自由にできること。</p> <p>平成30年度予算として仮施設の賃借料を計上していましたが、仮施設の確保には至りませんでした。</p>						
	現況と令和2年度予算への対応	<p>新四番町図書館が整備されるまでの間、図書館サービスを継続して実施する必要があります。</p> <p>令和元年度は、令和元年6月に決定した現施設の近隣の物件において、図書館仮施設として必要な設備等を整備するための改修工事を行います。改修工事完了後、現四番町図書館から仮施設への移転作業及びオープンに向けた準備を進めます。</p> <p>令和2年4月からは、仮施設における図書館サービスを開始します。</p>					
所管課 地域振興部 文化振興課			決算参考書	202頁	H30予算の概要	133頁	